

7

2022年は改正離島振興法の年。  
党の離島対策プロジェクトチームの事務局次長へ就任！

暮らしの声に  
耳を傾ける。

10年ごとに更新される離島振興法の改正の年を迎えました。現在会期中の国会にて法案成立の可能性が高いとされています。現行の離島振興を続けていても、島の急激な人口減少は止まりません。「若い人達が残れる島づくりを進めてほしい」この3年間、各島をまわり活動している中で最も聞かれた声でした。与野党を超えて、新しい時代の新たな島のための経済政策を進める国会でなければなりません。立憲民主党の離島対策プロジェクトチームが立ち上がり、事務局次長に就任しました。



三島の皆様との意見交換会

本土と比べ物価が10%以上高いとされる島の現実。ヨーロッパでは「島の消費税減税」により活性化に成功し、離島航路を「海の国道」と考え、鉄道運賃並みの料金へ引き下げる法整備がされています。「島の消費税0%」「離島航路の低料金化を島民以外も対象にする」公約実現に向けて、党内で活発な議論を行っています。その他、離島医療の問題では「オンライン診療の合法化」「医療船巡回の推進」「看護師等の人員設置基準の緩和」等、子育て・教育では「特別支援教育の充実」「1クラスあたりの児童定数の見直し」「島留学への補助金拡大」等が話し合われています。答えは現場にある！島で暮らすあなたの声をお寄せください。改正離島新興法への政策提案をぜひお願いします。安心して子育てや老後を暮らせる島づくりを一緒に進めましょう。

平和を願う。ロシアのウクライナ武力侵攻により、お亡くなりになった全ての方々へ哀悼の意を捧げます。そして、一日でも早いロシア軍の早期撤退を強く求めます。その上で、最後の被爆地である長崎を代表する国会議員の一人として、核兵器を威嚇で使ったプーチン大統領の行為は断じて許せません！多くの多くの長崎の皆様、広島の皆様、そして唯一の被爆国である国民の皆様と一緒に強く抗議します。



号外  
2022.03.01  
創刊号  
No.01  
立憲民主  
RIKKEN MINSHU  
立憲民主編集部 〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-12-4  
ふじビル3F  
Tel. 03-6811-2301  
Fax. 03-6811-2302

# からちゃん News

衆議院議員 山田勝彦



国会や地元長崎での日頃の活動をお伝えします。  
政治をもっと身近に。そんな想いで発行しています。

1979年7月生まれ/大村高校卒業/法政大学卒業/2003年~会社員  
2009年~国会議員秘書/2013年~株式会社やまびこ学苑 設立(障がい福祉・農業)  
大村市で妻と息子の3人暮らし 趣味:野球 好きな時間:息子と公園遊び

## 1 厚生労働委員会、法務委員会、消費者特別委員会に所属！ 党の政調会長補佐へ就任！

あなたの声  
を届けたい。

2022年1月17日から約半年間の通常国会が始まりました。一期生として初めての本格的な国会活動になります。本会議だけでなく、所属の各委員会や党の部会、超党派の議連などに参加し、様々なテーマの議論に参加します。立憲民主政策調査会で小川会長から「一期生だからこそ、新鮮な感性でどんどん発言してほしい。遠慮は全くいらない」と会長補佐に任命された私たち新人議員に対し、積極的な政策提言を求められました。「あなたの声を力に変える！」地元長崎の皆様の声往直球勝負で国政へ届けていきます。



国会に初登院

## 2 国会での初質疑！金子農水大臣へ 「令和版所得補償制度」と「オーガニック給食」を提案！

農業と食の  
安全を守る。

2月16日、予算委員会分科会にて金子農林水産大臣へ質疑しました。地元長崎の各地の農村をまわり、農家の皆様の声を聞きました。「農村にわっかもんがいらなくなった。わっかもんに帰って来てほしい」現実、70代80代が担い手の中心で農地をなんとか維持し、地域を必死で守っておられます。そんな中で、「民主党の時の戸別所得補償を復活してほしい」という声をたくさん頂戴しました。そこで、大臣に尋ねました。「なぜ、自公政権は農家の所得補償制度を廃止したのでしょうか？」



国会での初質疑

農水省は「みどりの食料システム戦略」の中で、2050年までに有機農業の農地面積を0.5%から25%へ拡大するという目標を掲げています。そこで、早期達成の有効策として、オーガニック給食を提案しました。それに対し農水省から「各自治体のオーガニック給食への取り組みに対し、国からも支援を行う」と画期的な答弁がありました。子ども達の笑顔と未来を守るため、全国にオーガニック給食が広がっていくよう、これからも全力で行動していきます。あの場に立たせてもらった時、これまでお支え頂いた皆様への感謝の気持ちが自然と溢れて来ました。3年間の活動の想いや現場の皆様の声の思いっきりぶつけることができました。県民の皆様へ改めて感謝申し上げます。引き続き、全力で働きます！※動画はコチラから→YouTube「山田カッチャンネル」

### 秘書の紹介

あなたの声を聞かせてください。



大窪 浩章  
おおくぼ ひろあき

大村・対馬担当

山田勝彦代議士と志を同じくして、皆様に寄り添う政治、頼りになる政治を実現して参る所存です。何でもお申し付けください。趣味:将棋、映画鑑



西野 克也  
にしのかつや

佐世保・東彼・大村担当

佐世保市(早岐・三川内・宮地区)、波佐見町、川棚町、東彼杵町、大村市を担当しています。ポスティングからポスター営業、地域の声を聞きながら頑張ります。



今利 典央  
いまりののぶ

五島担当

山田勝彦代議士と志を同じくして、皆様に寄り添い、お一人お一人の声を届ける政治を実現して参る所存です。好きなこと:食べること、動画鑑賞



青山 一信  
あおやま かずのぶ

上五島担当

昨年3月まで新上五島町役場に勤務していました。皆様の声を代議士に伝えることが使命だと思っています。ご要望ありましたらご連絡ください。



植村 郁子  
うえむら ふみこ

壱岐担当

この先の日本に豊かな自然とより良い社会環境を繋ぐため、山田代議士と共に活動させていただきます。趣味:散歩、家庭菜園、牛の世話



池田 祐子  
いけだ ゆうこ

国会事務所

大村生まれ大村育ち。東京で大好きな長崎に関わる事に感謝しながら山田勝彦代議士と共に皆さまのお声を国政へ届け平和を築いて行きます。好きな食べ物:かんころもち



藤田 真信  
ふじたまのぶ

国会事務所

山田勝彦議員が愛する地元長崎の皆さんのお声をしっかりと国政にお届けし、皆さんの暮らしの繁栄に貢献できるよう頑張ります。宜しくお願い致します！

YouTube  
山田カッチャンネル



SNS  
情報

山田勝彦 検索  
@yamabiko719

LINE  
ID: yamabiko719

立憲民主党長崎県第3区総支部  
山田勝彦事務所

〒856-0805 長崎県大村市竹松本町 859-1  
TEL: 0957-46-3788 FAX: 0957-46-3789  
国会事務所: 〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館401号室 TEL 03(3508)7420

info@cdp-nagasaki.jp  
www.yamada-katsuhiko.com



3

### 大村入管へ強く申し入れ「命を最優先に」 記者会見を開き制度改革を訴える！

人権と命が  
守られる国に。

1月28日、鎌田議員（法務委員会次席理事）と石川議員（難民問題に関する議員懇談会事務局長）と共に大村入国管理センターに収容されているネパール人男性と面会しました。2019年8月に「大腿骨頭壊死（だいたいこつとうえし）症」の診断を受けたにも関わらず、**必要な医療を受けられず放置され続けました。**半年後に車イスになり、その後車イスでの移動もできなくなり、現在はベッドに寝たきりの状態で過ごされています。「食欲がない。我慢できないくらいに痛い。足の痛みを訴え、手術をして欲しいと何度もお願いしたが、2年以上そのままにされている。2本の足で歩きたい」この悲痛な声を直接伺い、私たち3人は所長へ「一日も早く手術を。必要な医療を提供して欲しい」と申し入れました。所長からは「今後、医師の診察で手術が必要となれば判断する。現時点では、手術の必要はないと判断している」と回答がありました。とても正常な判断とは思えません。



大村市内で記者会見

昨年**の名古屋入管での死亡事件**。スリランカ人女性のウィシュマさんは、病院での点滴を求めたにも関わらず、医療を受けさせてもらえず、餓死されました。その事件後に法務省が出した改善策が、組織に浸透していないのではないか！このままでは第二のウィシュマさんになってしまうのではないかと強い危機感を抱きました。現行制度の問題点は、外国人の方を強制送還する目的の入管行政の中で、難民認定を行っていることです。私たち立憲民主党は、適切な難民認定を行うために UNHCR（国連の難民問題に関する機関）と連携した第三者機関をつくり、入管行政から難民認定の業務を独立させるべきと考えます。昨年、他の野党と議員立法も提出しています。

入管職員の意識改革でなく、入管行政そのものの制度改革が必要です。**当たり前の人権と命が守られる国であるために、国民の皆様と一緒に声をあげ続けます。\***動画は**コチラから→YouTube「山田カッチャンネル」**

4

### コロナ給付金、クーポン配布を政府が断念。 国民の声で政治は動く！事業者支援も拡充を！

政府与党を  
動かす政治。

立憲民主党は、昨年6月に33兆円規模のコロナ対策を提案し、臨時国会を求め続けました。しかし、政府与党はこれに応じず約半年が経過し、昨年12月ようやく36兆円の補正予算が出されました。あまりにも遅すぎました。その後、立憲民主党の後藤議員の指摘により、子育て世帯へのクーポン配布に967億円もの事務費がかかることが判明。全額現金給付を求める私たち野党の主張に対し、多くの国民の皆様の賛同があり、政府は10万円の全額現金給付を最終的に認めました。**野党の提案が国民の声となれば、政府与党を動かすことができます。**



衆議院へ議員立法を提出

1月31日、**立憲民主党は「事業復活支援金・給付額倍増法案」を提出**しました。現行の事業復活支援金は、オミクロン株拡大が想定されていない昨年12月に予算化されており、今となっては支援規模が不十分です。このため本法案では、**事業復活支援金の給付上限額を倍増（【50万円～250万円】→【100万円～500万円】）**し、中小事業者への緊急支援を行います。成立に向け、お力をお貸しください。

5

### ワクチン接種、子ども達へ義務化すべきでない！ あくまで個人の選択である！

子ども達の  
未来を守る。

2月9日の予算委員会、**5歳～11歳の子ども達へのワクチン接種**について、立憲民主党の青山議員が政府へ明確に要請されました。

「オミクロン株への有効性が現時点で示しきれない以上、予防接種法に基づき①努力義務を課してはならない。②接種券を一律送付（積極的勧奨）してはならない」この翌日、厚生労働省は「努力義務としない」と公表しました。

兵庫県の女性から山田勝彦宛に送られた手紙にこう書かれていました。「WHO（世界保健機関）は、小児は成人と比べて軽症の傾向があるため、**健康な小児に対する新型コロナワクチンの一律接種は不推奨であると**、公式に発信しています。子ども達には事実上の同調圧力が発生しないようにしてあげることが、私たち大人にできる現時点で最善の選択であると考えます」6歳の息子の父親として、心に響くメッセージでした。

子どもワクチンのメリット・デメリットをどう分析するか。正解なき難問。だからこそ、大人の責任で出したそれぞれの答えが尊重されるべきではないでしょうか？**判断能力がまだ十分でない子ども達に対し、決して強制されることがないように、政府へ引き続き強く求めます。**



ママさんと意見交換

6

### 長崎県の島で1リットル190円！？ トリガー条項発動でガソリン価格の大幅値下げを！

島の現状を  
国政に伝える。

燃油高騰が止まりません。この間、長崎県内の各地域で多くの事業者や生活者の皆様等から不安の声を聴きました。国民生活及び国民経済を守るため、今こそ政治の力が必要です。

立憲民主党は昨年12月7日、**ガソリン価格を値下げする「トリガー条項発動法案」**を衆議院に提出しました。

トリガー条項とは、ガソリン1リットルあたりの価格が3ヶ月連続して160円を超えた場合、翌月からガソリン税の上乗せ分25.1円の課税を停止し、その分だけ価格を下げることです。しかし、政府はその提案を受け入れず、元売り業者へ5円相当分の補助金を出しましたが、一向に効果がありません。

予算委員会での度重なる質疑によって、岸田総理は「トリガー条項も含め検討する」と答弁しましたが、いつまで検討されるのでしょうか？特に島は深刻です。**1リットルあたり180円台後半～190円まで高騰**しています。

「燃料が高くなりすぎて、困っている。もう生活できない」「これでは漁業、農業の跡継ぎはできない。跡を継いでくれとも言えない。これ以上高くなればやめるしかない」「仕入れもほぼ毎週値上げしていて、政府から補助があるけれど、追いついていない。苦しいのは油を売ってる方も同じだ」

本当に地方や島の人達の切実な声が届いているのでしょうか？国民生活に直結する問題に与党も野党もない！野党の対案をすぐに実行してもらえよう、一緒に声をあげて政府与党を動かしましょう！



離島の実際の価格